

平成26年度第2回入札監視委員会議事概要

開催日時及び場所	平成26年10月8日(水) 海上保安庁会議室(11階)	
委員	委員長 平野 廣和 ;中央大学総合政策学部教授 委員 杉本 洋文 ;東海大学工学部教授 委員 伊藤 文夫 ;弁護士	
抽出案件		<備考>
工事	1件	
(小計)一般競争	1件	
公募型及び工事希望型指名競争	-	
指名競争	-	
随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	11件	
物品又は役務等	3件	
合計	15件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する海上保安庁の回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別 紙

委 員	海 上 保 安 庁
<p>1．入札・契約手続の運用状況及び指名停止運用状況並びに入札結果等</p> <p>なし</p>	
<p>2．抽出事案の審議            &lt; 工事：一般競争契約 &gt;</p> <p>「第二厚生棟ほか4棟整備」(学校)</p> <p>設計については、通常の鉄骨造の積算とは異なるはずだ、どのように積算したのか。</p> <p>現場監理業務の委託契約について、予定価格はどのように算定したのか。</p>	<p>近畿地方整備局が出している積算基準で積算した。</p> <p>監理する回数を算定し、交通費と日当で積算した結果、見積書のほうが安価であったので見積書を市価採用した。</p>
<p>&lt; 建設コンサルタント：一般競争・随意契約 &gt;</p> <p>「石垣港（浜崎地区）磁気探査」ほか3件（第十一管区）</p> <p>説明の中で、複数の業者から参考見積書を取ったと記載があるが、何社から見積もりを取ったのか。</p> <p>予定価格は積算で作成しているのではないか。</p>	<p>落札業者以外に、沖縄県でコンサルが可能な2社から見積もりをとった。</p> <p>海洋土木積算基準に基づき積算を行ったが、落札業者の見積書が安価であったので、予定価格として採用した。</p>
<p>&lt; 建設コンサルタント：一般競争契約 &gt;</p> <p>「尻屋崎D G P S局耐震診断」(第二管区)</p>	

<p>年間計画として、会社の手持ち設計業務が少なくなる5月、6月に耐震診断を発注することが、ひとつの発注方策ではないかと思う。6月、7月の発注は難しいのか。</p> <p>理解した、うまく発注時期の組み合わせを行っていけば良いと思う。 積算方法について、説明をお願いします。</p>	<p>当庁が発注する灯台などの工事は、海岸近くや海上の工事が多いため、工事期間を考慮し、台風時期前に終了させる必要があることから、このような現場工事を優先させて発注している状況である。</p> <p>調査設計などは、現場作業にあまり日数を要さないことから、工事期間が長い整備工事を優先している。</p> <p>積算は、公表されている積算基準に基づき積算し、診断業務の直接人件費については、労務工数の歩掛がないため、業務内容毎に3社から労務工数の見積りを徴収し、比較のうえ一番安価な見積りを採用した。</p>
<p>&lt; 建設コンサルタント：一般競争契約 &gt;</p> <p>「白埼灯台ほか1件総合耐震診断業務」ほか5件（第五管区）（第六管区）</p> <p>多くの業者を入札参加させるために、地域単位で発注したということだが、その考え方が本当に良かったのか。 結果的には1者しか入札に参加していない。</p> <p>業務を小さくして発注する方法と、一括して発注する方法について、現在、建設業は非常に仕事があって、細かい仕事を1個1個やっていく時代じゃない。</p> <p>小さい会社に対して、1個1個発注しても、今は仕事がたくさんあり、入札参加は難しいと思うので、今の社会情勢であれば、一括して発注した方が良かったと思う。</p> <p>しかし、この先、東北の震災復旧工事などの仕事が無くなると、大手に仕事が持っていかれることとなる。</p>	<p>1者入札の結果から、コンサル業者に聞き取り調査をおこなったが、繁忙時期にあたることから、入札参加しないということであった。</p> <p>灯台の維持管理に係る工事などの発注方法については、今後ともきちんと考えながら、委員のご意見を踏まえ、色々検討していきたいと思う。</p>

<p>どちらかが正しいではなくて、状況を見て工夫して発注の方がコストダウンできると思う。</p>	
<p>&lt; 役務：一般競争契約 &gt;</p> <p>「コピー機保守」（第十管区）</p> <p>コピー機については、リースの時代だと思うので、1枚いくらで、トナーも保守もすべて込みの契約ができると思う。</p> <p>今、コピー機本体を買うよりは、サービスを買う時代だと思う。</p> <p>地域の文房具屋などは、入札に参加できないのか。</p> <p>発注者も地域の文房具屋が、どのメーカーのコピー機の保守も対応できるようであれば、利点があると思う。</p> <p>また、地域の業者が契約できれば、地域の活性化につながる考え方もあると思うので、入札の参加の仕方を周知するといいいと思う。</p>	<p>先生ご案内のとおりメリットもあるかと思うが、難しいところは、船のような特殊な形態で定期的なメンテナンスができないところもあり、現状を変えようとする時間がかかると思う。</p> <p>代理店がどれだけいるのかを発掘して、検討していきたい。</p>
<p>審議の結果</p>	
<p>概ね今回の入札に関しましては、公正にやられていると判断させていただきます。</p>	

## 抽出案件に関する主な説明

抽出契約件名： 「第二厚生棟ほか4棟整備」

抽出理由	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約金額が高額であるので、仕様書が適切であったのか。(第1回入札時に最高と最低で20%程度の金額の開きがある)</li> <li>・4件の工事が同時に進行しているが、発注者側としての監督業務は妥当に行われているか。</li> </ul>	<p>本件は、海上保安学校の学生数が平成26年10月から138名増加するため、増加する学生が生活するために必要な学生寮、厚生棟等の施設の整備を行うものである。</p> <p>仕様書は、前年度にコンサルタント業務を行い、同業務による成果物を基に近畿地方整備局の技術的な協力を得て作成した。 そのため仕様書に関する質問は、現場事務所の配置、工事事業電力の使用等の仮設関係のみであり、仕様書そのものに係る質問はほとんど無かった。</p> <p>入札額について、第1回目入札時に最低価格を入札した業者に聞き取り調査を行ったところ、京都府北部地域において、学校の耐震改修に伴う仮設校舎の案件や民間事業所新築等を多く受注しており、直近で受注した舞鶴西高校の案件が4月10日、民間の物流事業所の案件が4月末に終わるため、北部地域に抱えている下請け業者を継続的に抱える大きな現場を確保する必要があったので、会社として是が非でも受注する方針であったとの回答であった。</p> <p>第1回目入札時に2番札を投じた業者に聞き取り調査を行ったところ、舞鶴周辺で実績を上げるため、経費をかなり落とし入札したとの回答であった。</p> <p>第1回目入札時に最高価格を入札した業者に聞き取り調査を行ったところ、舞鶴周辺で実績を上げるため、会社として戦略を練ったが、工期は約5ヶ月あるものの、受注後、施工図等を起こす期間や5月連休の期間を差し引くと実質3ヶ月程度しか工期が無く、また工期後半は盆休みと重なるため、工事面積からして短期間に相当な人員を確保することが想定された。</p> <p>現在、建設業界は人手不足の状態にあるため、仮に受注した場合は、作業員を集めるのに、それなりの対価を保障しなければ集められない状況にあったので、高めとは分かっていたが、リスクも大きいので入札したとの回答であった。</p> <p>以上のように仕様が分かりづらいとの質問が無かったことや、応札業者それぞれの企業戦略により入札額に開きが生じたものであるため仕様書は問題ないものと判断しています。</p> <p>本件は、海上保安学校の敷地の一角に厚生棟、学生寮、付属機械棟、渡り廊下2棟を新築整備するものであり、工事監理業務を一級建築士に委託している。監督業務は同一級建築士の助言及び近畿地方整備局の技術協力を得たうえで行っており、問題ないものと判断しています。</p>

その他	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格の算定の考え方</li> </ul>	<p>予定価格の算定にあたっては、公表されている公共建築工事積算基準、平成26年度公共工事設計労務単価及び積算参考図書を参考とするとともに、資材等については、見積書を徴取し参考とした。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市場調査の状況</li> </ul>	<p>積算に際しては、建設物価調査会が発行している建設物価、経済調査会が発行している積算資料の市場単価を採用するとともに、ハウスメーカー等から参考見積を徴取し、市場調査を行った。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競争性を確保するための方策</li> </ul>	<p>「国土交通省所管の契約に係る競争参加資格審査事務取扱要領について」によれば、本件「第二厚生等ほか4棟整備」の入札参加資格は原則としてA等級であるが、より競争性を確保するため、A又はB等級とした。</p> <p>また、入札公告を校内掲示板及び海上保安学校ホームページに掲載したほか、本件を受注可能な大手ハウスメーカーに対して、公告の情報提供を行う等、複数者での競争性確保に最大限配慮した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の対応</li> </ul>	<p>今後とも可能な限り十分な工期を確保するとともに、他省庁の発注状況について情報収集し、工期等が重複しないよう効率的な発注となるよう検討する。</p> <p>また、適切な仕様書の作成、市場価格等を考慮した予定価格の算定及び競争性の確保に最大限配慮する。</p>

## 抽出案件に関する主な説明

抽出契約件名：石垣港(浜崎地区)磁気探査ほか3件(第十一管区)

抽出理由	説明
<p>・同一業者の一者入札のため契約金額が高いと思われるが、一者入札の理由。</p>	<p>本件は、わが国の主権と領土・領海を堅守し、国民の安全・安心を確保するため、尖閣警備専従体制を構築する必要があり、領海警備の専従船舶の係留棧橋を早急に整備するための契約である。</p> <p>抽出となった4件については、当初、「石垣港(浜崎地区)磁気探査(潜水探査含む)」、「土質調査」、「土質調査その2」の3件について一般競争入札に付するため公告を行い実施している。</p> <p>入札の結果については、「磁気探査(潜水探査含む)」、「土質調査」の2件が、予定価格超過により不調となり、「土質調査その2」のみが、落札する結果となった。</p> <p>不調となった「磁気探査」、「土質調査」については、仕様等の見直しを行い、再度入札公告を行ったところ、1者の参加となり、当該業者が落札する結果となった。</p> <p>なお、「土質調査」、「土質調査その2」については、入札参加申し込みを行ったものの、入札には参加しなかった業者が複数いたことから、当該業者へ理由を確認したところ以下のような回答があった。</p> <p style="padding-left: 2em;">時期的に他の公共工事等と重なる時期でもあったため、資機材及び人員の手配が厳しい状況であった。</p> <p style="padding-left: 2em;">那覇空港拡張工事(第二滑走路建設)が始まり、沖縄県内の港湾土木業者の多くはその施工に携わっていること。</p> <p style="padding-left: 2em;">現場(石垣島)が遠隔地であり、大型の重機・機材を本土などから用意し運搬するにもかなり時間を要するため、履行期限に間に合わない可能性がある。</p> <p>以上のことから、資機材及び作業員の手配がつかないことが、今回のような一者入札となった主な原因と考えらる。</p> <p>また、落札業者については、本社を福岡県北九州市に置き、主に西日本エリアの海洋調査、磁気探査、土質調査・測量などの業務を広く手がけており、必要な人材、資機材等を九州地方から調達することが可能であったため履行が可能であった。</p>
<p>・同一業者と随意契約も実施しているが、その理由について</p>	<p>随意契約となった「石垣港(浜崎地区)潜水探査」については、当初「石垣港(浜崎地区)磁気探査」として、磁気探査と潜水探査を併せて1件の契約として一般競争の公告をしていたが、不調となったことから、仕様の見直し(潜水探査を別契約とする)を行い、より広く業者が参加しやすいよう、磁気探査と潜水探査を分け、工程上先に実施しなければならない磁気探査を公告したところ、1者が参加し落札する結果となった。</p> <p>随意契約とした潜水探査については、全体工程を考慮し早急に実施する必要があり、実施にあたっては、既に契約を締結している磁気探査の結果を基に行われることから、磁気探査のデータを有している同社と随意契約を締結した方が、必要以上の検証が不要で、現場代理人の配置、使用資機材等磁気探査から引き続き作業を行うことが可能となり、資機材運搬費などの経費が削減でき、積算価格上も安価となり、上段のとおり公告しても他の参加業者が見込めない状況で、経済性、時間コスト等を総合的に判断し、随意契約とすることが有利であると認められることから、随意契約とした。</p>

その他	説明
<p>・予定価格の算定の考え方</p>	<p>予定価格の算定にあたっては、公表されている平成25年度港湾土木工事積算基準、平成25年度公共工事設計労務単価及び建設物価、積算資料等の積算参考図書を参考とするとともに、資材等については、見積書を徴取し参考とした。</p>
<p>・市場調査の状況</p>	<p>積算参考図書に掲載されていない資材等の価格については、複数の専門業者から見積書を徴取し市場調査を行った。</p>
<p>・競争性を確保するための方策</p>	<p>「国土交通省所管の契約に係る競争参加資格審査事務取扱要領について」によれば、本件の入札参加資格は原則としてA等級であるが、より競争性を確保するため、A又はB等級とした。</p> <p>また、競争性の確保のため、入札公告を当本部掲示板に掲示するとともに、第十一管区海上保安本部ホームページにも入札公告を掲載し、さらに沖縄総合事務局庁舎掲示板への掲示、建設新聞への情報提供などを行った。</p>
<p>・今後の対応</p>	<p>今後とも可能な限り十分な工期を確保するとともに、他省庁の発注状況について情報収集し、工期等が重複しないよう効率的な発注となるよう検討し、競争性の確保に最大限配慮する。</p>

## 抽出案件に関する主な説明

抽出契約件名： 「尻屋埼DGPS局耐震診断」(第二管区)

抽出理由	説明
<p>・落札率が44.7%と低くなっている理由</p>	<p><b>構造診断業務概要</b>            施設の現況調査、材料試験等を行った結果に基づき、局舎は、「官庁施設の総合耐震診断・改修基準」、通信鉄塔は、「建築基準法」及び「通信鉄塔設計要領」に基づき診断し、必要な性能が確保されているか構造診断・評価するものである。</p> <p><b>落札率が44.7%と低くなった理由</b>            ・請負者への聞き取り調査            6月7月に終了する業務があり会社の手持設計業務が少なくなること及び本業務の一部(コンクリートコア採取等現場調査)を実施可能な協力会社も存在したことから、途切れることなく何としても受注したいとの考えをもって望んだ。との回答を得た。            ・発注にあたっては、他省庁の発注状況の情報収集を行い、発注時期が重複していないことを確認した。</p>

その他	説明
<p>・予定価格の算定の考え方</p>	<p>・労務工数及び現地試験(コンクリートコア採取、各試験)に関しては、市場価格に合致させるべく工数見積り、現場調査に関する単価見積りを3社から徴収し採用している。            ・労務単価及び諸経費については、下記によることとした。            労務単価は、「平成26年度公共工事設計労務単価及び設計業務委託等技術者単価」の適合する職種を採用            諸経費の積算は、局舎に加え鉄塔の構造診断もあることから、設計業務等標準積算基準書(電気通信施設設計業務積算基準を含む。)に基づき積算を行った。</p>
<p>・市場調査の状況</p>	<p>積算基準、建設物価、積算資料等の積算参考図書に掲載されていない試験費、調査等の金額については、3社の市場価格を調査して採用した。</p>
<p>・競争性を確保するための方策</p>	<p>「国土交通省所管の契約に係る競争参加資格審査事務取扱要領について」に基づく入札参加資格は「建設コンサルタント」のB等級であるが、過去の同種契約の入札参加者が少数であったことから、より競争性を確保するため、直近上位のA等級を含め「建設コンサルタント」のA又はB等級とした。            また、今後とも競争性の確保のため、入札公告の掲示(庁舎入口)に併せ、第二管区海上保安本部ホームページにも入札公告を掲載するとともに、業界新聞である建設新聞に入札公告内容のほかにも工事概要等の入札情報を提供している。</p>
<p>・今後の対応</p>	<p>・国、地方公共団体、民間等の発注状況や業者の受注状況等の情報収集を行い効率的な発注に努める。            ・予定価格算定に係る市場調査への対応として、今後も3社以上からの見積徴収を行い、市場に合った積算に努める。</p>

## 抽出案件に関する主な説明

抽出契約件名： 「白埼灯台ほか1件総合耐震診断業務」ほか4件(第五管区)

抽出理由	説明
<p>・同一業者の一人入札のため契約金額が高いと思われるが、一人入札の理由</p>	<p>【一人入札の理由】 当庁の灯台等航路標識は、一般的なビル等の建築物と異なり、車両で行けないような辺鄙な場所に立地し、構造も特殊で、多くの労力を必要とする業務、工事が多く、入札に参加してくれる業者が少ないものが多い。 それに加え、本件については、当庁の入札に参加実績のある設計コンサル6者(耐震診断業務3者、施設点検3者)に対して聞き取り調査したところ、4者から「補正予算による公共工事の発注量増大に伴い、設計業務の発注量も増大しており、配置可能な技術者が不足しているため、入札参加を見送っている状況である。」との回答があり、配置技術者不足により受注が難しい状況であった。 本5件は、多くの業者が参加しやすいように、広範囲かつ数多い物件の業務とせず、地区ごとに分割し公告したが、1件を除き1者しか入札参加者を得ることができなかった。</p> <p>【契約金額が高いと思われる理由】 落札業者の積算にあつては、入札後、内訳書を確認したところ、請負業者の社内規定に基づいた直接人件費及び諸経費にて算出しており、各種試験については、協力会社からの見積価格を採用している。 当庁の予定価格の算定にあつては、当庁が定めている「航路標識関係施設総合耐震診断積算要領」や市販の「建築保全業務積算基準」の職種、労務工数及び諸経費率を採用し、労務単価については、市販の建設物価にも掲載されている「平成25年度設計業務委託等技術者単価」「平成25年度公共工事設計労務単価及び建築保全業務労務単価」から適合する職種の労務単価を採用し積算した。また、積算歩掛りにない各種試験(試験片成形、コンクリート圧縮強度試験、中性化試験等)については、市場価格に合致させるべく3者から見積もりを徴収し積算を行うなど、市場に合せ算定しており、契約金額が市場に合ったものになったものと思われる。</p>
<p>・主任技術者等の重複はないか</p>	<p>各契約案件毎に管理技術者を配置しており、重複はない。 なお、六管区発注の業務に従事している管理技術者とも重複はない。</p>
<p>・分割発注している理由</p>	<p>業務範囲を広くした発注とした場合、入札参加業者が少なくなることが予想されたため、多くの業者が入札に参加しやすいように県(地区)単位で分割発注を行った。</p>

その他	説明
<p>・予定価格の算定の考え方</p>	<p>予定価格の算定にあつては、「耐震診断業務」については、当庁が定めている「航路標識関係施設総合耐震診断積算要領」の職種、労務工数及び諸経費率を採用し、労務単価については、「平成25年度設計業務委託等技術者単価」から適合する職種の労務単価を採用し積算した。また、積算歩掛りにない各種試験(試験片成形、コンクリート圧縮強度試験、中性化試験等)については、市場価格に合致させるべく3者から見積もりを徴収し積算を行った。 「施設点検」については、「建築保全業務積算基準」の職種及び諸経費率を採用し、労務単価については、「平成25年度公共工事設計労務単価及び建築保全業務労務単価」から適合する職種の労務単価を採用し積算を行った。また、積算歩掛りにない労務工数については、市場価格に合致させるべく3者から見積もりを徴収し採用した。各種試験(試験片成形、コンクリート圧縮強度試験、中性化試験等)についても同様に、市場価格に合致させるべく3者の市場価格を採用し積算を行った。</p>
<p>・市場調査の状況</p>	<p>積算基準、建設物価、積算資料等の積算参考図書に掲載されていない試験費の金額については、3者の市場価格を調査して採用した。</p>
<p>・競争性を確保するための方策</p>	<p>・広範囲かつ数多い物件の業務とせず、多くの業者が入札に参加しやすいように地区ごとに分割し公告した。 ・全等級の業者が入札に参加できるように、1件を除き等級を拡大しA又はB等級に格付けされているものとした。 ・第五管区海上保安本部庁舎への入札公告掲示に併せ、第五管区海上保安本部ウェブサイトにも入札公告を掲載し、建設新聞社への情報提供を行った。</p>
<p>・今後の対応</p>	<p>・競争性を確保するための方策を継続するとともに、他省庁及び自治体の発注情報の動向に注視し、できるかぎり発注の時期が重複しないよう情報収集を行い、1者応募の解消に取り組んでいく。 ・他省庁における同種業務の実績業者の情報収集を行うなど、業者の掘り起こしに努める。</p>



## 抽出案件に関する主な説明

抽出契約件名 : 「コピー機保守」(第十管区)(本庁)

抽出理由	説明
<p>・同じ鹿児島県内でコピー機の保守がメーカー毎に落札率が異なっている理由。</p>	<p>コピー機保守は設置機種メーカー(代理店)でなければ行うことができないことから予定価格算定の基礎となる参考見積書は鹿児島県の各メーカー支社等から徴収することとなる。落札率が異なる理由は、各メーカーの参考見積額と実際に入札する額に差があり異なっているもの。</p> <p>なお、参考見積額と入札価格との差額を業者に聞き取りした内容は次のとおり。</p> <p>本契約は、前年度まで代理店により保守契約を行っていたが、平成25年度末をもって同代理店が廃業する連絡を受け、入札に参加することになった。</p> <p>参考見積書の提出に当たっては、本社がHPページ等で公表している保守料金単価を基に算出した額で作成のうえ単価の設定を行っている。</p> <p>なお、今年度の契約にあたっては、単価を算出するうえで社内でコストダウンが図られたためカラー単価については減額で入札したことである。</p> <p>仕様書の使用枚数に基づき、単価を設定のうえ参考見積書を提出し、また、入札額については過去の入札実績を基に判断した額である。</p>
<p>・機種統一によるコストダウンは可能か。</p>	<p>現状の契約形態において最安価のメーカーに機種統一したと仮定して試算したところ、現契約よりも年間約15万円コストダウンという計算結果となった。(モノクロコピーの単価は全メーカー同一であり、上記の価格差はカラーコピーの単価及び控除割合によるもの。)</p> <p>しかしながら、事務所内の各コピー機の更新時期が異なるため、機種統一等について長期的な更新計画により検討していくこととする。</p>
<p>・各管区のコピー機等の保守であるが、各管区毎に契約価格に大きな開きがある。</p> <p>各管区での実績を元にして、最低価格に合わせる様にするべきではないか。</p>	<p>製造メーカー4社に聞き取り調査を行ったところ、各メーカーとも使用機種、使用年数、使用頻度のほか、地域性を考慮し、営業エリア毎に単価を設定しているとのこと。</p> <p>各社とも他社製品の保守は実施しないこと、及び同じメーカーであっても地域特性があることから、最低価格に合わせることは困難であると思料。</p>

その他	説明
<p>・ 予定価格の算定の考え方</p>	<p>予定価格の算定にあたっては、入札参加業者からの参考見積書を徴収し参考とした。</p>
<p>・ 市場調査の状況</p>	<p>コピー機保守は設置機種毎のメーカーでしか行えないものであり、各メーカーから見積書を徴収し調査した。</p>
<p>・ 競争性を確保するための方策</p>	<p>より競争性を確保し、広く応札者を募るべく、入札公告を掲示板に掲示するとともに、ホームページにも入札公告を掲載した。</p>
<p>・ 今後の対応等</p>	<p>予定価格の作成にあたっては、各メーカーのほか代理店からも参考見積書の徴収するなど市場調査の範囲を拡大し、また、前年度の契約単価も参考のうえ適正な予定価格の算定に努める。</p>